

# 2020 年度シンポジウム「海洋利用と生物付着の制御」

## オンラインシンポジウム

10月初旬の現時点で、新型コロナウイルス感染拡大が再び懸念される状況になっているため、東京大学大気海洋研究所で開催を予定していた日本付着生物学会とマリンエンジニアリング学会海洋環境委員会が主催する2020年度シンポジウム「海洋利用と生物付着の制御」をZoomによるオンラインシンポジウムとすることに決定いたしました。

日本付着生物学会としては初めての試みですが、すでに国内外の多くの学会の大会やシンポジウムではオンライン開催が実施されているようです。もちろん参加者が一堂に集い、議論、交流をすることが、この分野の研究の発展に重要な役割を果たしてきたと思いますが、このようなコロナ禍においても研究者、技術者がオンラインで交流することは意義深いと考えます。また、今後の学会の在り方を模索する良い機会と捉えます。

このように、今回は下記の要領でオンライン開催をすることになりましたが、多くの皆様の参加をお待ちしております。

主催：日本付着生物学会、日本マリンエンジニアリング学会海洋環境研究委員会

開催形式：Zoomによるオンライン開催（東京大学大気海洋研究所、河村知彦学会長がホストとなる予定です）

開催日時：2020年10月30日午後、31日午前

オンラインシンポジウム参加費：どちらかの学会員 1,000円、非会員 2,000円、学生 無料（事前振込）

懇親会：中止（ただしオンライン交流会を計画）

### 概要

海洋の利用は、古来より人と物の流通にとって欠かせない海運に加え、近年では洋上風力発電や魚類の海中養殖など多岐にわたり、人類に恩恵を与えている。一方、船舶にフジツボ類など付着生物が付着し運行機能の障害となる「生物汚損」は古くて新しい問題であり、洋上風力発電施設や海中養殖施設の網に対しても様々な機能低下を生じさせる。汚損生物を防除するために、防汚塗料の開発など歴史的に様々な対策が講じられてきたが、その対策が海洋環境に与える影響への懸念もクローズアップされている。そこで、近年の海洋利用と開発の拡大に伴い、海洋環境に配慮した「生物汚損」制御が必須の課題となっている。本シンポジウムでは、海洋利用や開発に伴う生物汚損の現状を整理し、その対策技術の最新の知見を展望する。また、国際規模での制御に関する動向にも言及し、今後、海洋利用や開発に際してこの問題にどう対処するかを考える機会としたい。

海洋利用・開発に携わる者、防汚技術開発及び関連基礎研究に携わる研究者の有意義な情報交換の場にしたいとも考えている。

### 基調講演

- ・野方靖行（電中研）

汚損生物としての付着生物に関する最新情報と問題提起

- ・中田英昭（長崎大学名誉教授）

洋上風力発電にともなう沿岸海洋の生態系影響：付着生物研究の視点から

### 一般講演

- (1) 汚損実態とその予測

- ・澤秀樹（株式会社日本海洋科学潜水事業グループ） 船体汚損、水中船体清掃
- ・経塚雄策（長崎大学） 平戸瀬戸における試験板を用いた付着生物調査について

- ・鶴岡比呂志（日本水産）大規模沖合養殖の技術開発と生物付着への対応
- ・大谷道夫（大阪市立自然史博物館）海の外来生物－その侵入過程と今後の対応について－
- ・眞道幸司（海洋生物環境研究所）海洋設置設備・構造物の汚損実態と防汚対策

(2) 防汚技術開発（防汚塗料を中心に）

- ・北野克和（東京農工大）新規防汚化合物の開発
- ・島田守（日本ペイント）船底防汚塗料開発における最近の動向
- ・山下桂司（セシルリサーチ）付着制御と新規防汚素材の開発

(3) 防汚塗料の環境影響、性能評価、国際動向

- ・大地まどか（東京農工大）海洋生物における船底防汚物質の毒性影響
- ・北村徹（日本NUS）船体付着による生物移動の制御に関する国際動向
- ・小島隆志（海技研）船底防汚塗料の防汚性能評価試験法

総括

- ・南清和（東京海洋大学）シンポジウム総括～海洋付着生物への新たな認識に向けて～

2020 オンラインシンポジウムスケジュール案			
			講演者（敬称略）
10月30日午後	12:30-13:00	受付	
	13:00-13:10	開会の辞	河村知彦 学会長
	13:10-13:40	基調講演 1	野方靖行
	13:40-14:10	基調講演 2	中田英昭
	14:10-14:30	休憩	
	14:30-14:50	セッション 1-1	澤秀樹
	14:50-15:10	セッション 1-2	経塚雄策
	15:10-15:30	セッション 1-3	鶴岡比呂志
	15:30-15:50	休憩	
	15:50-16:10	セッション 1-4	大谷道夫
	16:10-16:30	セッション 1-5	眞道幸司
	16:30-16:50	セッション 2-1	北野克和
	16:50-17:00	休憩	
	17:00-17:20	セッション 2-2	島田守
	17:20-17:40	セッション 2-3	山下桂司
	17:50-	オンライン交流会	
10月31日午前	10:00-10:20	セッション 3-1	大地まどか
	10:20-10:40	セッション 3-2	北村徹
	10:40-11:00	セッション 3-3	小島隆志
	11:00-11:20	休憩	
	11:20-11:40	総合討論	
	11:40-12:00	総括	南清和

- ・参加申込は、**申し込み用紙に記入の上、メール添付で**下記事務局に送付してください。

参加申込期限：10月20日（火）

- ・参加者は参加費を**10月23日（金）**までに付着生物学会の下記口座に振り込んでください。

ゆうちょ銀行

振替口座 00130-9-772419

加入者名 日本付着生物学会

振込確認後、Zoom招待状（ID、パスワード）がメールで届きます。

また参加者にはシンポジウム開催前にプログラムおよび講演要旨集が送付されます。

- ・なお、参加者はZoomによるオンラインでの参加が可能なインターネット環境が必要です。

ご所属の機関によっては、セキュリティ上の理由でZoomの使用が制限されている場合もあります。その場合は、自宅等からの参加をご検討ください。

不明な点などありましたら、事務局にお問い合わせください。

日本付着生物学会事務局 Tel: 03-6824-9371, Fax: 03-5227-8631, E-mail: [sosj-post@bunken.co.jp](mailto:sosj-post@bunken.co.jp)

Zoomでの開催方式と参加の手順、講演会場への入退室、質疑応答の方法などの詳細につきましては、別途お知らせいたします。

# 2020 年度シンポジウム「海洋利用と生物付着の制御」

## オンラインシンポジウム

### 参加申込書

(2020 年 10 月 30 日(金)・31 日(土) 開催)

氏名: \_\_\_\_\_

会員種別(番号を○で囲んで下さい)

付着生物学会 : 1. 正会員    2. 学生会員

日本マリンエンジニアリング学会 : 1. 正会員    2. 学生会員

4. 一般非会員    5. 学生非会員

所属機関名: \_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_

FAX : \_\_\_\_\_

E-mail(必須): \_\_\_\_\_

オンライン参加申込 (10 月 20 日 (火) 締切)

オンライン参加費振込 (10 月 23 日 (金) 締切)

どちらかの正会員 1,000 円、一般非会員 2,000 円、学生 (会員および非会員) 無料  
参加費は下記の付着生物学会の口座に振り込んでください。

ゆうちょ銀行

振替口座 00130-9-772419

加入者名 日本付着生物学会

ご意見、ご希望

---

---

---

\*参加者一名につき一枚を下記担当宛にメール添付でお送り下さい。

日本付着生物学会事務局

E-mail: sosj-post@bunken.co.jp